

代表者名	千葉 俊	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢93番地先	設立年月日	平成15年4月16日

【沿革及び県の出資理由】

魚などとの触れ合いを通じた学習の機会を提供し、県民の自然保護及び地球環境保全についての理解を深めるとともに、秋田県の観光振興を図ることを目的に県等の出資により設立された。

【出資者】（25年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	51,000	51.0
男鹿市	1	31,000	31.0
民間	5	18,000	18.0
計	7	100,000	100.0

【事業】

①主たる業務

秋田県立男鹿水族館の管理運営

②事業実績

(千人)

事業名等	22年度	23年度	24年度
入館者数(有料)	213	233	206

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

平成24年4月の爆弾低気圧で建物に被害が生じた事で計画通りの営業が行えなかった。また 高速道路の有料化で他県からの減少もある。昨年12月に仔グマの誕生があり、今年4月に「ひれあし's 館」(ひれあし図鑑)がオープンした。本年7月に「海フェスタ」、10月からはデスクティネーションキャンペーンとイベントが充実しており、平成25年度の有料入館者数を27万7千人と見込んでいる。

【組織】

①役員数 (H25.7.1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	4	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	5	1
内、県関係者	1	

②職員数 (H25.4.1現在)

(人)

	人数	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
正職員	20		
内、県退職者			
出向職員		29.2歳	5.6年
内、県職員			
臨時・嘱託	7		
内、県退職者			
計	27	平成24年度正職員平均年収	2,902千円
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数(平成24年度)	2人
役員報酬支給対象者平均年齢	64歳
平均役員報酬額(平成24年度)	4,680千円/年

【財務】

①損益状況(24年度)

(千円・税抜)

	金額
経常収入 A	422,194
受託事業収入	95,200
水族館収入	169,326
自主事業収入	154,079
運用益収入	
その他	3,589
経常支出 B	418,460
人件費	115,397
その他	303,063
経常損益 C = A - B	3,734
経常外収入	7,744
経常外支出・諸税	17,982
当期損益	△ 6,504

(千円)

県の損失補償額	県の債務保証額

②財務状況(24年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	225,614	93.9
固定資産等	14,646	6.1
資産計	240,260	100.0
流動負債	41,149	17.1
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	41,149	17.1
資本金	100,000	41.6
剰余金	99,111	41.3
純資産計	199,111	82.9
負債・純資産計	240,260	100.0

(千円、%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中退共加入		%

【県の財政支出】

(千円・税抜)

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	92,809	91,828	95,200	水族館を管理するにあたり人件費、広告宣伝費、生物購入費等を支出
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全 展 性	自己資本比率	%	83.18	76.80	82.87	△ 6.38	6.07
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	565.10	402.22	548.29	△ 162.88	146.07
	経常収入額	千円	420,810	473,648	422,194	52,838	△ 51,454
収 益 性	剰余金(△欠損金)	千円	96,895	105,615	99,111	8,720	△ 6,504
	経常利益率	%	1.20	3.22	0.88	2.02	△ 2.34
	総資本利益率	%	2.13	5.69	1.55	3.56	△ 4.14
効 率 性	総資本回転率		1.78	1.77	1.76	△ 0.01	△ 0.01
	職員1人当たり経常収入額	千円	13,150	13,533	11,728	383	△ 1,805
	人件費比率	%	27.63	26.18	27.33	△ 1.45	1.15

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経 営 改 善 指 標	当期利益(千円)	目標	2,210	500	3,000	492
		実績	3,967	8,719	△ 6,504	
事 業 成 果 指 標	売上高人件費率(%)	目標	29	31	29	28
		実績	28	26	28	
事 業 成 果 指 標	入館者数(千人)	目標	223	210	225	277
		実績	213	233	206	
事 業 成 果 指 標	売上高(千円)	目標	340,219	303,321	335,033	401,096
		実績	324,637	359,640	323,405	
顧客満足度指数	目標		88	88	80	98
	実績		87	78	97	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

4月の爆弾低気圧で電気関係や冷却塔に多大な損失があった事で計画に沿った営業が行えなかったことが残念である。また、高速道路有料化の影響と東日本大震災地区の復興と安全が進んだことにより、近県のお客様利用が減少した。天候では夏暑く冬寒く大雪と遊びにできる環境が整わなかった。プラス要素としてはホッキョクグマ仔グマ誕生など明るい話題も残せる1年でもあった。

〈顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組〉

GW・お盆といった繁忙期に駐車場係を増やすことで混雑・渋滞の軽減を図る。
館内の混雑状況を見て、売店・レストランの時間延長などの対応。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・当期損失△6,504千円は、4月の爆弾低気圧による建物・冷却塔への被害の復旧に要した損失12,437千円(受取保険金控除後)を主たる要因とする臨時的な理由によるもので、経常利益は3,734千円と目標を達成している。</p> <p>・事業計画のイベントをほぼ実行できたが、有料入館者数は206千人と前年度実績の233千人、当年度目標の225千人を大きく下回っている。25年度はJRデスティネーションキャンペーン等により秋田県が注目されるため、より入館者数が増加するような魅力あるイベント等の施策を図ることが望ましい。</p>	